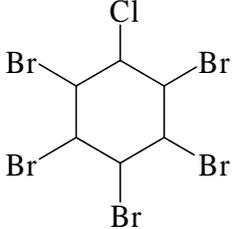
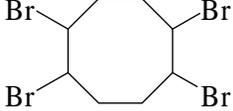
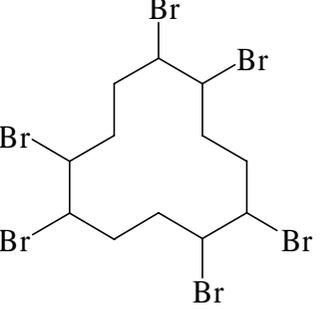


K - 1 7 1 5 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
クロロペンタブロモ シクロヘキサン (87-84-3)		3-2251 (K-802)	標準(4W)1986年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 2, 0, 0 (1)	難分解性 (1986)	1986年実施 4.72 (フラスコ振とう法)	>50 (48hr)	1977年実施 ピーク A 1区(25 µg/L) : 102 ~ 844 2区(2.5µg/L) : 184 ~ 727 ピーク B 1区(25 µg/L) : 102 ~ 819 2区(2.5µg/L) : 197 ~ 644 ピーク C 1区(25 µg/L) : 76 ~ 534 2区(2.5µg/L) : 125 ~ 388 脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1987)
1, 2, 5, 6 - テトラ ブロモシクロオクタン (3194-57-8)		3-2254 (K-1715)	標準(4W)2005年実施 BOD -16, 2, -1 (0)*1 G C 1, 0, 1 (1)	難分解性 (2005)	5.24*2	7.50 (96hr)	2007年実施 定常状態における濃縮倍率 ピーク 1 1区(10µg/L) : 3900 2区(1µg/L) : 2600 ピーク 2 1区(10µg/L) : 4700 2区(1µg/L) : 2800 脂質含有率 開始前 5.07% 終了後 5.09%	
1, 2, 5, 6, 9, 10 - ヘキサブロモシクロ ドデカン (3194-55-6)		3-2254 (K-1035)	標準(4W) 1990年実施 BOD 0, 0, 4 (1) ピークA HPLC 11, 0, 4 (5) ピークB HPLC 10, 4, 4 (6) ・各ピークについて(HPLCによる) 分解度試験 濃縮度試験 ピークA 成分A, B, C ピークB 成分D, E	難分解性 (1990)	混合物のため 測定不可	>250*3 (48hr)	1990年実施 1回目(成分 B) 1区(120µg/L) : 146 ~ 453 2区(12µg/L) : 1370 ~ 3580 (成分 E) 1区(722 µg/L) : 23 ~ 85 2区(72.2µg/L) : 195 ~ 453 脂質含有率 3.8% 1995年実施 2回目(成分 B) 1区(24 µg/L) : 834 ~ 3070 2区(2.4µg/L) : 3390 ~ 16100 (成分 C) 1区(20.2µg/L) : 816 ~ 1780 2区(2.02µg/L) : 3350 ~ 8950 (成分 E) 1区(144 µg/L) : 118 ~ 418 2区(14.4µg/L) : 479 ~ 2030 脂質含有率 3.9% 3区(2µg/L) : 1760 ~ 3280 脂質含有率 3.5%	中濃縮性 (1992) 高濃縮性 (2001)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

*2 Kowwin v 1.66 による計算値

*3 入手試料として

整理番号 K-1754 (NEDO 325, 2-0061)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
1, 4-ジクロロブタン (110-56-5)		事業対象年度 平成17年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 17.10.14~18.1.5		試験期間 . . ~ . .		試験期間 . . ~ . .		
		試験装置 標・ 揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		
構造式(示性式)・物理化学的性状 $\text{Cl}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$ 分子式 $\text{C}_4\text{H}_8\text{Cl}_2$ 分子量 127.01		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD 7, 12, 3 (7)%	試験結果	間接		試験結果
直接	GC -1, 0, -1 (0)%		直接			直接		
純度*1 99.9%(毛管カラムGC)	外観 無色透明の液体							
不純物(物質名, 含有率) 水分 0.03% 酸(HClとして) 0.01%以下 残り 0.07%については不明	溶解度(対水, その他) 対水*2 1.53×10^4 mg/L 酢酸エチル 10 g/L 以上	審査部会 第56回 18年 7月21日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
融点*2 -37.3℃		判定 難分解性		判定		判定		
沸点*2 161℃	1-オクタノール/水分分配係数 $\log \text{Pow} = 2.5$ (HPLC法)*3	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 91.4% (汚泥+被験物質)系 92.7% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・(水+被験物質)系における被験物質保持率 100% ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・揮発性が高いため、TOC分析は実施しなかった。				備考		
密度*1 1.142 g/mL(20℃)								
LD50	解離定数							
IRチャートの有無 有 ・無	解離基なし							
用途								
生産量 (年)								
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。

*3 溶離液：アセトニトリル/精製水 (1/1 V/V)

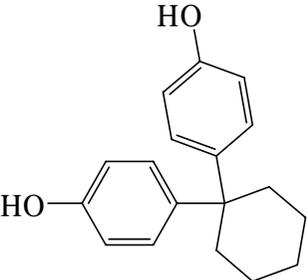
濃縮度試験					事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験									
試験期間					18. 8. 14 ~ 18. 9. 25					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験	
依 頼	年月日
	経過

K - 1754の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ジクロロプロパン (78-87-5)	$\begin{array}{c} \text{CH}_3-\text{CH}-\text{CH}_2-\text{Cl} \\ \\ \text{Cl} \end{array}$	2-0081 (K-19)	標準(2W) 1974年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 0, 6 (3) G C 0, 0 (0)	保留	/	104 (48hr)	1979年実施 1区(0.4 mg/L) : 1.2~3.2 2区(0.04mg/L) : 0.5~6.9 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1978)
			標準(2W) 1977年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 3, 0 (2) G C 4, 0 (2)	難分解性 (1978)				
1-クロロブタン (109-69-3)	$\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$	2-0060 (K-1007)	Closed bottle法(4W) (5.21mg/L) 1991年実施 BOD 0 G C 0	難分解性 (1991)	1991年実施 2.82 (フラスコ振とう法)	79.9 (48hr)	1991年実施 1区(0.5 mg/L) : 7.6~21 2区(0.05mg/L) : 11~17 脂質含有率 3.7%	高濃縮性 ではない (1991)
1,4-ジクロロ ブタン (110-56-5)	$\text{Cl}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$	2-0061 (K-1754)	標準(4W) 2006年実施 BOD 7, 12, 3 (7) G C -1, 0, -1 (0)*	難分解性 (2006)	2006年実施 2.5 (HPLC法)	/	分配係数から類推	

* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

整理番号 K-1755 (NEDO 330, 4-0044)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1,1-ビス(4-ヒドロキシフェニル)-シクロヘキサン	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
(843-55-0)	試験期間 17. 7. 20~17. 10. 3	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₈ H ₂₀ O ₂ 分子量 268.35	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -1, 0, -2 (0)% 直接 HPLC 1, 1, 3 (2)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.9%	外観 白色粉末		
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.1%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 5.61 mg/L (25°C) (フラスコ法) 対メタノール 10 g/L 以上 対酢酸エチル 10 g/L 以上	審査部会 第 56 回 18年 7月 21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 190~192°C		判定 難分解性	判定
沸点 289.6°C (大気圧)	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.00*4	備考 1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 96.7% (汚泥 + 被験物質) 系 98.5% 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。	備考
比重*3 1.23~1.27			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*5 樹脂用老化防止剤 (天然ゴム、ジエン系合成ゴム用)			
生産量 (年)			
試料 購入先 Aldrich Chemical			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 Aldrich Chemical 添付資料による。 *2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(20004/10)による。 *3 有機化合物辞典 (講談社) による。
 *4 Kowwin v 1.67 による計算値。 *5 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験							毒性試験	
試験期間		18.10.16 ~ 19. 2. 9					試験期間		. . . ~ . . .					年月日	
試験装置 (標・揮)		LC50値 2.1 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)					試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()					依頼	
水槽設定濃度 (mg/L)							水槽設定濃度 ()							経過	
被験物質		分散剤					被験物質		分散剤						
		2-メトキシ エタノール													
第1濃度区		0.01		25			第1濃度区								
第2濃度区		0.001		25			第2濃度区								
第3濃度区							第3濃度区								
濃縮倍率		脂質含有率		開始前 5.4% 終了後 5.1% 魚種(コイ)			濃縮倍率		脂質含有率		開始前 % 終了後 % 魚種()				
		3日後		7日後		14日後		20日後		28日後					
第1		水槽濃度 (mg/L)		0.0108		0.0108		0.0110		0.0109		0.0109		第1	
		倍率		39		24		24		31		37		水槽濃度 ()	
				35		31		29		22		34		第1	
														倍率	
第2		水槽濃度 (mg/L)		0.00107		0.00107		0.00108		0.00107		0.00107		第2	
		倍率		32		34		<36		<38		<32		水槽濃度 ()	
				42		33		37		<38		39		第2	
														倍率	
第3		水槽濃度 ()												第3	
		倍率												水槽濃度 ()	
														第3	
														倍率	
審査部会		第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会		第 回 年 月 日 開催						
判定結果							判定結果								
備考		[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 29倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 <32~42倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 89.6% 試験水 第1濃度区 0.0005 mg/L 第2濃度区 0.00005mg/L 供試魚 87.0% 供試魚 0.033 µg/g [実施機関] 株式会社 三菱化学安全科学研究所					備考								

K - 1755の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,6-ジシクロヘキシルフェノール (4821-19-6)		4-0042 (K-482)	標準(4W) 1980年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 1, 2, 5 (3)	難分解性 (1980)	1981年実施 >6.19 (HPLC法)	6.5 (48hr)	1981年実施 1区(150µg/L) : 926 ~ 5960 2区(15µg/L) : 167 ~ 1620 脂質含有率 4.8% 1981年実施 1区(15 µg/L) : 919 ~ 3140 2区(1.5µg/L) : 384 ~ 1170 脂質含有率 5.1%	中濃縮性 (1982)
4,4'-ジヒドロキシ ビフェニル (92-88-6)		4-0820 (K-1509)	標準(4W) 2000年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2000)	2003年実施 2.75	15.8 (96hr)	2001年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(20µg/L) : 16 2区(2µg/L) : 26 脂質含有率 開始前 1.61% 終了後 2.28%	高濃縮性 ではない (2001)
1,1-ビス(4-ヒドロキシフェニル)- シクロヘキサン (843-55-0)		4-0044 (K-1755)	標準(4W) 2005年実施 BOD -1, 0, -2 (0)*1 HPLC 1, 1, 3 (2)	難分解性 (2006)	5.00*2	2.1 (96hr)	2006年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.01 mg/L) : 29 ばく露期間における濃縮倍率 2区(0.001mg/L) : <32 ~ 42 脂質含有率 開始前 5.4% 終了後 5.1%	

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1757 (NEDO 331, 4-0112)	分解度試験		3. 特記事項 ・ 試料の純度が低いため、TOD は組成式より算出した。 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。 ・ 被験物質は試験液中で一部加水分解し、複数の水溶性変化物（下記参照、HPLC 分析の溶出順に A-1, A-2, A-3, B-1, B-2, C-1, C-2, C-3, D-1, D-2 とした）を生成するが、いずれも残留する。また、HPLC クロマトグラム上の保持時間から、いずれの変化物も被験物質より極性が高く、後続試験は被験物質で実施した。
N, N, N', N'-テトラグリシジル-4,4'-ジアミノジフェニル	事業対象年度	平成17年度	被験物質の変化 被験物質 log Kow = 2.53*4 保持時間 45.2分*5 変化物 D-1, D-2 log Kow = 1.38*4 保持時間 38.3分*5 変化物 C-1, C-2, C-3 log Kow = -0.19*4 保持時間 33.5分*5 変化物 B-1, B-2 log Kow = -1.75*4 保持時間 9.4分*5 変化物 A-1, A-2, A-3 log Kow = -3.31*4 保持時間 4.2分*5
メタン (28768-32-3)	試験期間	17.11. 1~18. 3. 2	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 分子式 C ₂₅ H ₃₀ N ₂ O ₄ 分子量 422.52 組成式 C _{24.7} H _{30.1} N _{2.00} O _{4.11} (元素分析による)	試験装置	Ⓢ ・ 揮	
	試験濃度	有機物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	
純度*1 90.5%	外観	淡黄色粘性液体	
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 9.5%は不明	溶解度 (対水, その他)	対水 8.72 mg/L (25°C) 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対酢酸エチル 10 g/L 以上	
融点 -19.3°C	1-オクタノール/水分配係数	log Pow = 3.0 (HPLC法)*3	
沸点 測定不可 (240°C付近で淡褐色に変化)	安定性	水中で加水分解する	
密度*2 1.15 g/cm ³ (25°C)	解離定数	pKa ₁ = 2.12 pKa ₂ = 3.10	
LD50	用途	1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 97.2% (汚泥 + 被験物質) 系 97.4%	
IRチャートの有無 Ⓢ ・ 無			
生産量 (年)	試験結果	間接 BOD -8, -10, -10 (0)% 直接 HPLC 73, 68, 59 (66)%	
試料 購入先 Aldrich Chemical			
経済産業公報発表年月日	審査部会	第56回 18年 7月21日開催	
	判定	難分解性	
	備考	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	

*1 HPLCによる。 *2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheetによる。 *3 溶離液：メタノール/pH7.0緩衝液 (65/35 V/V)

*4 Kowwin v 1.67による計算値。 *5 HPLCクロマトグラムの保持時間

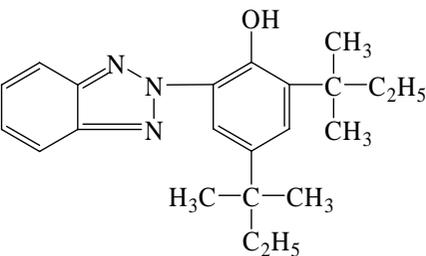
濃縮度試験					事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験									
試験期間					18.12.15 ~ 19.1.10					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験	
依 頼	年月日
	経過

K-1757の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>N, N</i> -(ジグリシジル)アニリン (2095-06-9)		3-0174 (K-698)	標準(4W) 1985年実施 BOD 0, 8, 1 (3) TOC 2, 4, 1 (2) U V(249nm) 9, 16, 8 (11) (水中で <i>N, N</i> -ビス(2, 3-ジ ヒドロキシプロピル)アニリンに 変化する。)	難分解性 (1985)	1.25*3	/	<i>N, N</i> -(ジグリシジル) - o-トルイジンから類推	高濃縮性 ではない (1985)
<i>N, N</i> -(ジグリシジル) -o-トルイジン (40027-50-7)		3-0236 (K-701)	標準(4W) 1984年実施 BOD 2, 3, 2 (2) TOC 2, 5, 1 (3) HPLC*1 8, 11, 9 (9) (水中で加水分解し、 <i>N, N</i> -ビス(2, 3-ジヒドロキシプロピル)-o-ト ルイジンとなることが確認された。)	難分解性 (1984)	1.80*3	/	変化物である <i>N, N</i> -ビス(2, 3-ジヒドロキシプロピル)-o-ト ルイジンから類推	高濃縮性 ではない (1985)
<i>N, N</i> -ビス(2, 3- ジヒドロキシプロピ ル)-o-トルイジン		3-0233 (K-701 変化物)	/	/	1985年実施 0.14 (フラスコ 振とう法)	>500 (48hr)	1985年実施 ピーク A 1区(1 mg/L) : <0.7~1.0 2区(0.1mg/L) : <7.2~33 ピーク B 1区(1 mg/L) : <0.2~0.4 2区(0.1mg/L) : <1.9 脂質含有率 4.0%	高濃縮性 ではない (1985)
<i>N, N, N', N'</i> -テトラ グリシジル-4, 4'- ジアミノジフェニル メタン (28768-32-3)		4-0112 (K-1757)	標準(4W) 2005年実施 BOD -8, -10, -10 (0)*2 HPLC 73, 68, 59 (66) (水中で加水分解し、エポキシ環が 開環した。)	難分解性 (2006)	2006年実施 3.0*4 (HPLC法)	/	分配係数から類推	

*1 加水分解生成物としての分解度。 *2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 *3 Kowwin v 1.67による計算値。
*4 溶離液：メタノール/pH7.0緩衝液(65/35 V/V)

整理番号 K-1766 (NEDO 340, 5-3604)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-	事業対象年度	契約年月日	契約年月日
ペンチルフェノール (25973-55-1)	試験期間	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₂₂ H ₂₉ N ₃ O 分子量 351.49	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接	試験結果 間接	試験結果 間接
試験結果 直接	試験結果 直接	試験結果 直接	
純度*1 99.8% (HPLC)	外観 淡黄色粉末		
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.2%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 0.0163μg/L (25°C) (カラム溶出法) 対N,N-ジメチルホルムアミド 10g/L以上 対クロロホルム 10g/L以上 対テトラヒドロフラン 10g/L以上	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 77~79°C		判定 難分解性	判定
沸点	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 7.25*3	備考 分解度試験及び物理化学的性状のデータの一部については、 企業提供データのため、非公開。	
密度 1.180 g/cm ³ (20°C)			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 和光純薬工業添付資料による。

*2 Seino, Shuichi; US 4835284 A 1989 CAPLUSによる。

*3 Kowwin v 1.67による計算値。

